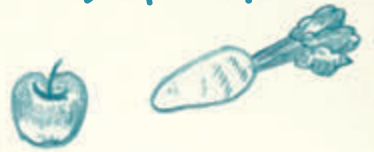


くりはらの仕事

就農フローチャート



平成22年次の国勢調査では、栗原市の農家人口総数は29,440人です。2015年6月末調べの栗原市の総人口は72,087人なので、栗原市の約4割の人は農業に従事していることとなります。このページでは栗原でメジャーな職業である農業をはじめたいと思ったときに、どのようなルートがあるのかご紹介したいと思います。

START

農業をはじめたい！



CHECK!

市

栗原市役所

まったく未経験の方にはこちらの窓口がオススメです。いつでも相談受付に越して下さい。(相談内容によって部署が異なります)
電話：0228-122-1125



県

みやぎ農業振興公社

年齢にあわせて2つの相談会を定期的にご利用しています。39歳未満の方が対象となる**若年就農相談会**は、毎月第2木曜日にみやぎジョブカフェにて開催。40歳以上の方を対象とした**定例就農相談会**は、毎月第3火曜日に宮城県仙台合同庁舎にて開催しています。
電話：022-1275-1919

県

栗原農業改良普及センター

少し農業に携わった経験がある方などはこちらの窓口がオススメです。普及指導員が地域を巡回し、農業者に対して技術や経営改善へ向けた支援を行うなど、農業や農村の活性化に向けた活動を行っています。
電話：0228-122-19404

農業のイメージを確かめてもらう

本気で農業をする方には、「**青年就農給付金**がお得」

農林水産省の事業である**青年就農給付金**は、研修期間中や農業経営の開始初期にある要件を満たすと年間**150万円**が給付されます。本気に農業をする方には、

とあらかじめ断っている理由は、その条件が兼業農家ではダメですよ、という条件になっているからです。逆に言えば**本気で目指している方**で**45歳未満の方**には**絶対**にオススメです。相談は**みやぎ農業振興公社**へ。

農地の取得について

農地を取得できる(買える、借りる)のは**新規就農者と農家**だけです。新規就農の場合は50アール(5000平米)5区以上取得する必要があります(花山地区は10アール)。農地取得についての相談手続きは**農業委員会**へ。
電話：0228-142-11239

その後のアップ
ステップで



兼業農家



専業農家



農業法人



GOAL

勉強から始める人

農業技術や経営ノウハウを習得するために行う研修には宮城県農業大学校が行っているニュー・ファーマーズ・カレッジ(研修期間半年)や、全国新規就農相談センターが行っている**チャレンジ the**

農業体験・研修がある。これらは農業経験がまったくない人を対象に行っているが、宮城県農業大学校には優れた農業経営者や農村地域の指導者の養成を目的とした**2年制のコース**もある。

まずは就職する人

生計を立てるために、平日は会社員等として働き、早朝や週末を利用して農業をするという生活スタイルもあります。

専業農家

農業を行う仲間が多いため、**4Hクラブ(農業青年クラブ)**や**農協青年部**など、若手農家のネットワークがあり、個人事業主であつても、学べる環境が整っています。



農業法人

研修ではなく、農業法人に就職して技術を習得することも可能です。**みやぎ農業振興公社**では、農業法人への就職希望者へ無料職業紹介を実施しています。また、**全国新規就農相談センター**では、農業法人への就職のきっかけとするため、**農業インターンシップ**を実施しています。

兼業農家

代々農家を営み、現在は別の仕事をしながら、できる範囲で農作物を育てている方が栗原市では多いです。ネット環境を整えて、1丁の仕事しながら時々農業という暮らしも、これからの栗原ではメジャーになるかもしれません。

売り先

自分で売り先を見つける

都心部の料理店など、旬の食材がほしいお店に営業し直接販売する方法があります。また、インターネットを通じた通販に力を入れている方もたくさんいらっしゃいます。

道の駅 e t c .

地域でつくるにぎわいの場である道の駅で、販売するルートがあります。

農協 J A

農協では農畜産物の集荷や販売を行っています。

相談は、お気軽にいらしてくださいね!

